

救命救急法講習会を開催しました



5月31日(土)、日本救急システムJEMSより3名の講師を迎え、救命救急法講習会を行いました。水泳学習が始まる前にできるだけ多くの方に受講していただきたいという思いで休日参観日に合わせて開催し、5・6年児童21名、保護者30名が参加しました。以下要点を簡単にまとめました。

〈救命士さんの話より〉

- ・心肺停止のため救急車で運ばれる人は年間約14万人
(1日390人、県内で言うと1日に2人の割合)
- ・救急車到着までにかかる時間は、全国平均10分
勝浦町で最も早く呼べるのは、(42-2500) 電話帳登録を！
- ・AEDは、町内に34台あり(一覧でお知らせします)
- ・AEDの電気ショックで助かる確率
1分以内で約90%→9分で約10%に(1分に7~10%低下)
胸骨圧迫で助かる確率は大きく上昇する
- ・AEDは4.9%しか使われていない(小学生が使った例あり)



小学生でもできるように一生懸命学んでいます。命を大切にする人になります。

〈心肺蘇生の一連の流れ〉

- ①倒れている人を発見
- ②周囲の安全確認(危険な場合は近づかない)
※同時に、救急車要請・AED用意・援助者集め等行う
- ③反応の確認(「分かりますか」だんだん声を大きく)
- ④呼吸の確認(胸と腹を見て確認)
- ⑤胸骨圧迫(右の通り)
- ⑥AEDの実施(電源を入れ、音声に従う)
- ⑦救急隊へ引き継ぎ(AEDのパッドは付けたまま)



〈胸骨圧迫〉

- ・「呼吸がない」「呼吸が変だ」、「呼吸しているか分からない」時にも必要
- ・膝立ちで肘を伸ばし、上の手で下の手を掴み、真上から手の付け根で押す(約5cm押す・100~120回/分)
- ・疲れたら、かけ声を掛けながら交代



PTA授業参観



救命救急法講習会前の授業参観にも、多くの保護者の皆様にお越しいただきました。前回の参観日から1ヶ月、お子さんやクラスの雰囲気、また担任の様子には変化が見られたでしょうか。



1年 算数



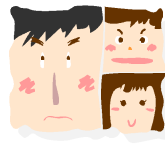
2年 図工



3年 音楽



4年 算数



子ども達の成長は早く、新しいことをどんどん吸収しています。時々驚かされることがあります。これからも家庭と学校の連携を密にし、子ども達の成長を支援していきたいと思ひます。



5年 国語



6年 国語



なかよし 国語

〈クイズ〉AEDが必要な心肺停止が起こる場所は、(自宅・学校)が一番多い。なので家の近くのAEDが設置されているところを知っておくことが大事である。さて自宅と学校どっちが多い？ 61.7%だそうです。